中学校 道　徳 の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

○　登場人物の心の動きに着目して，自分の意見や考えの根拠を明確にし，ねらいとする道徳的価値に気付き，深く感じたり考えたりすることができる。

⇨ **思考力，判断力，表現力の育成**

□　学　　年　　第２学年

□　主　題　名　　家族愛（内容項目４－(6)）

□　本時のねらい　　一冊のノートを見て，だまって祖母と並んで草をとる「ぼく」の心について考え，家族のかけがえなさに気づき，その一員としてかかわり合っていこうとする道徳的実践意欲を育てる。

□　資　料　名　　「一冊のノート」（文部省　道徳教育推進指導資料４　平成５年）

□　学習の流れ

言語活動の充実

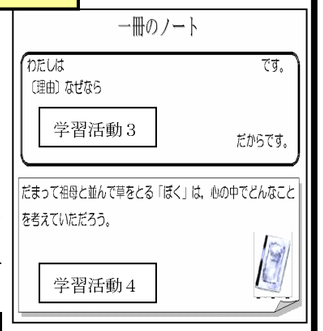
学習活動	指導上の留意事項	評価の観点（評価方法）
１　「一枚の写真」から想起する。 ２　祖母に対する「ぼく」の思いをとらえる。 ［発問と生徒の反応例］	・指導者の家族写真を提示し，多様な感じ方や考え方を引き出しやすい雰囲気をつくる。 ・祖母に対して冷たく接し，自己中心的な考えでいる「ぼく」を共感的にとらえさせる。	
○「問題集をなくされた『ぼく』はおばあちゃんに対してどんな思いを抱いただろう。」 ・もういい加減にしてほしい。　・どうせ忘れるのだから，余計なことはしないでほしい。		
３　外で祖母を見かけた「ぼく」の思いを，自分自身と向き合いながら考える。	・「ぼく」の心の揺れについてワークシートで考えをまとめさせ，自分の考えの根拠を明らかにさせる。 ・ネームーカードを活用し，板書で整理することで，自他の考えを比較しやすくする。	・「ぼく」の思いを自分自身と向き合いながら考えることができる。〔自分自身のものの見方や考え方等の表現〕（ワークシート）
○「『ぼく』は，外でおばあちゃんを見かけて『知らん顔』をして通り過ぎたとき，どんな思いだっただろう。」 ・恥ずかしくて，自分のおばあちゃんだなんて言えない。 ・なんか自分が友だちから笑われてるみたいで，嫌だな。帰ったら，変な格好で出歩かないよう言ってやろう。		
４　一冊のノートを読んだ「ぼく」の心の動きを考え，深める。	・家族を心から愛する祖母の思いを感じ取った「ぼく」についてじっくり考えさせる。 ・話合いの中で，自分や他の生徒の様々な考えに触れ，更に深めさせることで，ねらいとする道徳的価値を自分自身のこととしてとらえさせる。	・一冊のノートを読んだ「ぼく」の心の動きを考え，自分の考えを基に話合い，それを通して考えを深めることできる。〔自己や他者との対話による思考・判断〕（ワークシート，行動観察，発言）
◎「だまって祖母と並んで草をとる『ぼく』は，心の中でどんなことを考えていただろう。」 ・今までひどいことをしてしまって，ごめんなさい。　・これからも長生きしてね。 ・赤ちゃんのころからおばあちゃんはかわいがってくれていたんだね，ありがとう。 ・もうあんなひどいこと言わないからね。　・今度は，ぼくがおばあちゃんを支えていくからね。		
５　「一枚の写真」を見ながら教師の説話を聴き，学習をまとめる。	・導入で活用した写真を提示し，指導者が家族への思いを語る。 ・自分の家族とのつながりについて振り返らせながら，学びをまとめさせる。	

指導のポイント

自分の考えを書いたり，まとめたりするワークシートを活用する

■　ワークシートなどに**書く活動を通して**，自分自身のものの見方，考え方，感じ方などを確かめたり，まとめたり，記録に留めたりすることができます。また，それらをもとに今までの自分を振り返ることができます。

■　学習活動３では，「ぼく」の心の揺れについて，自分自身と向き合わせ，自分の**考えの根拠を確かめ**させます。学習活動４では，ねらいとする道徳的価値に迫るため「ぼく」の心の動きに着目し，**考えをまとめ，今までの自分を振り返らせ**ます。



生徒の思考を深める手掛りとなる板書を生かす工夫をする

■　板書は，生徒の思考を深める重要な手掛かりとなります。思考の流れや順序を示すだけでなく，生徒の思考の違いや多様さを**対比的，構造的に示す工夫**をしましょう。

■　学習活動３の板書では，ネームカードを活用して，生徒に個人の**意見とその根拠を明確**にさせ，お互いの意見を共有化させています。視覚的に分かりやすく整理したり，キーワードを生かしたりするなど板書を生かす工夫をしましょう。

意見の共有

〔実際の板書〕

自分の考えを深めさせるための話合いの機会を充実する

■　話合いは，話すことと聞くことが並行して行われます。二人一組の対話や小集団による話合いなどで，生徒が**主体的に考え，その考えを深められる**ような場面を設定しましょう。

■　学習活動４では，グループで一冊のノートを読んだ「ぼく」の心の動きについて，自分と他の生徒の意見は，どこが同じでどこが違うのかなどの視点を基に話し合わせ，生徒の考えを深めさせます。資料中に描かれている登場人物の生き方や他の生徒の意見を手掛かりに，**ねらいとする道徳的価値に気付き，深く感じたり考えたりできるような話合いの機会を充実**させましょう。

〔実際の話合い〕

新学習指導要領では

自分の考えを基に表現する機会を充実させ，考えを深める指導の工夫を重視

○　道徳の時間のねらいは，道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め，道徳的実践力を育成することです。今回の改訂では，そのねらいに迫るために，個々の生徒や学級の実態に応じて，**自分の考えを基に書いたり討論したりするなど表現する機会を充実**し，自分とは異なる考えに接する中で，自分の考えを深め，自らの成長を実感できるよう工夫することが求められています。

○　本事例では，ワークシートを活用した書く活動を通して，生徒の考えを確かめさせたり，まとめさせたりすることにより，ねらいとする道徳的価値を**自分のこととしてとらえ，振り返らせ**ます。また，生徒の思考を深める手掛りとなる板書の工夫や自分の考えを深めさせる話合いの機会を設定することにより，**自分自身の価値観を確認したり，自らの価値観を見つめ，見直す**ことができます。